

No.2
奇数月1日発行

平成25年3月

広報さーくる

内容
 ・包括支援課より
 ・お知らせ
 ・研修報告
 ・自殺対策月間
 ・編集後記

船橋市健康福祉局福祉サービス部
包括支援課より

『さーくる』に期待すること』

「保健と福祉の総合相談窓口・さーくる」が昨年12月にスタートいたしました。

市の総合相談窓口の設置の必要性については、以前から検討されていたところですが、その根底には「いろいろな問題があつてどこに相談したら良いかわからない」「複合的な問題がある家庭の場合など、それを一か所に対応してくれる窓口がない」等々の声があつたことも事実だと思ひます。

市の福祉をはじめとする相談窓口には、高齢者、障害者（児）、児童、生活困窮、消費者被害、健康問題などそれぞれの専門の窓口があります。

私たち地域包括支援センターは、市内8か所に設置されている高齢者の総合相談のワンストップ窓口になっていきますが、実際の相談を受ける中では上記したように一つの家庭内に高齢者問題だけではない複合した問題を抱えた家庭も相当数あります。また、各種制度と制度の狭間からすべり落ちてしまうような相談などもあり、そうした事案に対応し、また複合し

た相談やケースについて、組織横断的に対応する保健と福祉の総合相談窓口「さーくる」の設置は極めて意義のあることと考えています。

今回この事業を受託した社会福祉法人は、既に他市において実績を積んでいる法人であり、そういう意味では即戦力として期待される所は大だと思ひます。スタートしてまだ2カ月余ですが、「さーくる」の窓口にはいつも相談される方がいらつしやっております、早くも市民の方々に浸透しているようで、嬉しく思ひます。

私たち地域包括支援センターは、高齢者部門の総合相談窓口です。で、「さーくる」とは、よい意味でライバルです。

これから様々な問題やケースで「さーくる」と協働することも多くなつていくものと思ひます。

市民のみなさまにとって、気軽に立ち寄れる身近な相談場所となり、市民の方に健康でやすらぎのある生活を送っていただくために、共に協力しあい、研鑽しあつて、共によりよい相談窓口になつていきたいと思ひます。



市内の地域包括支援センター（8か所）

- 中部地域包括支援センター (tel) 423-2551
- 東部地域包括支援センター (tel) 490-4171
- 三山・田喜野井地域包括支援センター (tel) 403-5155
- 西部地域包括支援センター (tel) 047-302-2628
- 法典地域包括支援センター (tel) 430-4140
- 南部地域包括支援センター (tel) 436-2883
- 北部地域包括支援センター (tel) 440-7935
- 豊富・坪井地域包括支援センター (tel) 457-3331

お知らせ



☆お知らせコーナーへ掲載を希望される団体は「さーくる（circle）」までご連絡ください。

TEL047-495-7111 FAX 047-435-7100

講演名	日時	場所	費用	申込み	問い合わせ他
親が突然「うつ病」に子供は？どう生きてきたか 講師：ひだクリニック院長 肥田裕久先生 父が「うつ病」発症。息子が10年で見て感じてきたことを父親の主治医と話します	平成25年 3月2日 (土) 開場13:15 開演13:45 終了16:00	アビーホール 我孫子市本町3-2-28 (我孫子駅徒歩1分 イトーヨーカドー3階)	無料	不要	主催・問い合わせ先：NPOザフト TEL:04-7163-4533 後援： 中核地域支援センターほっとねっと 柏市地域生活支援センターあいネット
精神保健福祉普及啓発員会 講演「うつ病の支援とメカニズム」 佐瀬医院 井村 有子先生 民生委員、ヘルパー、ボランティア等地域で活動している方。医療機関、養護教諭、福祉関係等職域でと活動する方対象です！	平成25年 3月6日(水) 18:30 ~20:30	船橋市中央公民館 講堂 船橋市本町2-2-5	無料	不要 定員150人 当日先着順	主催：船橋市保健所 問い合わせ： 船橋市保健所保健予防課精神保健福祉係 TEL:047-431-4191
地域連絡調整会議	平成25年3月23日(土) 15:00 ~17:00	船橋市東部公民館 講堂 船橋市前原2-21-21	無料	ご案内を関係機関に送付させていただきます。FAXで	主催・問い合わせ先： 船橋市「保健と福祉の総合相談窓口」 さーくる(circle) TEL:047-495-7111

研修報告

1月、2月に参加させていただいた研修について、ご報告させていただきます。
関係機関の皆様、貴重なお時間をありがとうございました。

平成25年1月23日(水)～北部公民館にて～

船橋市北部地域事業所交流会(居宅介護支援事業所)の報告

地域の包括支援センターが中心となって定期的に行われる「地域事業所交流会」で、1時間ほどのお時間を頂戴し、さーくるの事業内容の説明をしてみました。

50名の在宅介護支援センター相談員、ケアマネジャーの皆さんから、「さーくるは相談員が3名の中で、カンファレンス等も含めた多職種との連携や相談支援がどこまで可能であるか」というご質問や「さーくるができたことによって、相談機関が増えました。家族に複合的な問題を抱える利用者に、ケアマネジャーと連携を図りながらよい相談支援ができると思います」という、ご意見も頂戴いたしました。

大変貴重なご意見と、心強いお言葉をいただいたことに、この書面をもってお礼を申し上げます。

今後、地域の在宅介護支援センター相談員、ケアマネジャーの皆様と、連携を密にしながら(顔の見える関係作り)、相談支援を実施していきたいと思っております。ご遠慮なくご相談ください。

平成25年2月4日(月)～市役所にて～

平成24年度第1回 庁内連絡調整会議の報告

さーくる事業実施にあたり、関係機関等の担当者が互いに情報を共有し、その活用を図るために、市と地域に所在する各関係機関を招集し、連絡調整会議を開催することになっています。

12月に事業が開始され、庁内関係各課のご担当者の皆様にご出席いただき、初の連絡会議を開催しました。この連絡会では、地域福祉課より「事業開始の経緯」を、総合相談の先駆けの「柏市地域生活支援センターあいネット」永桶所長より、あいネットの活動を紹介していただき、それを踏まえ、さーくるの活動を12月の相談実績も合わせ報告をさせていただきました。

質疑応答の時間も含め1時間半という短時間ではありましたが、「今後、市から市民向けの広報媒体に、さーくるを記載したい」「連携を取りながら相談支援をしていきたい」という建設的なご意見をいただきました。

今後、関係各課の皆様との「連携の取り方」が、課題として挙げられました。

さーくるとして、事業開始から、間もなく3か月が経とうとしています。相談するということは、大変な労力を費やします。相談者お一人おひとりが、「さーくるに相談をしてよかった。自分でも頑張ってみようかな。」と思えるようになることを大切に、抱えている問題を協働で解決をしていきたいと再確認をいたしました。

ご存知ですか? 3月は『自殺対策月間』です。

警視庁の自殺統計によると昨年の全国の自殺者数は2万7766人でした。15年ぶりに3万人を下回ったものの、毎日80名近くの大切な命が失われていることになりま。この為、国は自殺者が最も多い3月を「自殺対策強化月間」と定め、地方自治体、関係民間団体等と連携して重点的に広報活動を展開しています。

○悩んでいる人はサインを発していることが多い

→悩んでいる人は「辛い」「もうだめだ」というような言葉を述べたり、感情が不安定になったり、急に周囲との関係を断つようになるなど、間接的、直接的なサインを発していることが少なくありません。周囲が悩みに気づいたら、声をかけ、まずは話を聞くことが重要です。

○自殺は追い込まれた末の死である。

→自殺の背景には、単一ではなく、様々な要因があります。様々な悩みが原因となって追いつめられて、自殺以外の選択はないとしか考えられないような心理状態に陥ったり、社会的に危機的な状態に追い込まれてしまっていることがしばしば見受けられます。

(内閣府自殺対策「悩んでいる人に気づき、声かけ、話をきいて必要な人につなげ見守る人=ゲートキーパー養成 Q&A」より抜粋)

身近な地域に相談窓口があります(一部紹介)

相談名称	連絡先・利用について
寄り添いホットライン	0120-279-338 24時間。 音声ガイダンスが流れたら「⑤死にたいくらい辛い気持ちを聞いてほしい」を選択すると相談員につながります。

***別紙『ひとりで悩まず相談を・・・あなたの“こころ”を聴かせてください』リーフレットをご参照ください。**

【発行・編集】

社会福祉法人 生活クラブ 風の村
船橋市委託事業
船橋市「保健と福祉の総合相談窓口」さーくる(circle)

所在地 船橋市湊町2-10-25 船橋市役所本庁舎内3階
TEL 047-495-7111
FAX 047-435-7100
HP <http://www.kazenomura.jp>
Email circle@kazenomura.jp

ブログ検索
↓社会福祉法人風の村
<http://www.kazenomura.jp>
(K)

今年、船橋にも雪の知らせが多かったように思います。寒い日が続くと春が待ち遠しいですね。さて、さーくるが開所して、3か月が経ちました。様々な研修会や会議などに参加させていただき、地域の皆様のお話をうかがえることを有難く感じている日々です。今回より、そうした研修の報告を載せさせていただきます。広報誌を通じて、沢山の方にさーくるの活動を知っていただけたら嬉しく思います。また、さーくるでは、月2回程度、ブログの更新をしています。お時間がありましたら、そちらも覗いていただけたら嬉しいです。

編集後記